

城西病院で DMAT 活動スタート

茨城県から DMAT 指定医療機関の指定証交付

Disaster Medical Assistance Team 災害派遣医療チーム

城西病院の DMAT は 3 月 28 日、茨城県から DMAT 指定医療機関として指定証が授与され、正式に発足しました。県内では 18 番目のチームとなります。

DMAT は、大規模災害や大規模事故の際に現場に派遣される医療チームで、阪神淡路大震災の教訓から、一刻でも早い医療処置で人命を救おうと、各県ごとに組織されています。城西病院は、海外の難民支援や医療支援を行ってきた経験を生かし、村田智史医師や近藤典子、津久井由幸両看護師、永井信寿事務調整員が DMAT の資格を取得し、災害救助の医療機器や通信機器などをそろえるなどし、準備を進めてきました。

DMAT は、大規模災害などが発生した時には、県の要請によってチームとして出動。負傷者などの救助に当たります。

指定証授与に先立ち、DMAT メンバーと多田正毅理事長、永島覚一医師、寺内章雄事務長が橋本昌県知事と懇談。「テレビなどで大災害発生を知ったら、すぐに出動に備えて、待機します」と意気込みを示しました。また、前場文夫結城市長や臼井平八郎県議も加わり、県や県西地域の医療事情などについて意見を交換しました。指定証は、茨城県の松岡輝昌保健福祉部長から多田理事長に渡されました。

城西病院では、永島医師と寺内事務長も近く DMAT の研修に参加して資格を取得し、内科チームと外科チームの 2 チーム編成を目指しています。

平成 29 年 3 月 29 日



橋本昌知事と多田正毅理事長や DMAT メンバーたち



松岡輝昌保健福祉部長から指定証を受ける城西病院 DMAT

